

日野・生活者 ネットワークニュース

No.164

2021年10月20日発行

発行／日野・生活者ネットワーク 発行責任者／出沼恵美子
〒191-0062 日野市多摩平2-3-12 中央日石ビル4F
URL <http://hino.seikatsusha.me/>



日野・生活者ネットワーク 新たな1ページへ



2022年2月の日野市議会議員選挙に向けて、日野・生活者ネットワークでは臨時総会を開催し、現職の白井なおこの擁立を決定しました。

ケアラー実態調査など 日野市2022年度予算への要望提出

日野市は厳しい財政状況を再建すべく、事業全般を選択と集中の観点から見直しています。加えてコロナ禍です。その中でこぼれ落ちてしまうものがないか、私たちの日頃の活動を通じてみえてきた課題や、市民の皆さんからの声を踏まえ、次年度予算への反映を求め、要望書を大坪市長に提出しました。

以下はその一部の項目です。



- いざという時に迅速に対応できる宿泊療養体制の整備
- 子どもの人権を守るオンブズパーソン制度検討会設置
- 高齢の子ども家庭支援センターは子育て広場に
- 老々介護への支援強化、相談体制の充実
- ケアラー（介護者）への聞き取り調査の実施
- 作業療法士の学校配置をモデル校からすすめる
- 市の予算・決算の市民向け財政講座の実施
- ゼロカーボンシティに向けて、環境部署の組織の再編
- 小水力発電等の明かりで夜空を楽しめるスポットを

未来につながる政策を
前回の2018年市議選政策「な
おこの7つの政策」は、白井なお
この議会での質問を通じ提案・実
現してきました。それを引き継ぐ
次の政策は、「子どもの権利」「ケ
アラー（介護者）支援」「気候危機」「
居場所」などのテーマに加え、市

民の方々から頂いた提案などを元
につくりました。
時おり「ネットの政策は分かり
にくい」との声を頂くことがあります
ですが、私たちは少し先の未来を見
据え、その未来からみて今何を
すべきかという視点で政策を考え
ています。

市政をよりよいものにしていくこと
で、その活動の輪が広まるよう、こ
れからも努めていきたいと思います。
是非皆さんの声を生活者ネットワー
クと白井なおこにお寄せください。

生活者ネットワークとは
総会では、日野ネットのこれから
についても話し合いました。
生活者ネットワークは、市民と行
政をつなぐ地域政党です。私たちは
生活の中の課題を生活者の視点で政
治につなげ、しくみを変えてきました。
生活者とは誰のことなのか、折に
ふれて立ち止まって見つめ直しま
す。大切なことはもちろん、小さな
ことまで、いつも皆で話し合って考
えます。

まちづくりの主役たち

映画

『ひとつ原発～失われたふるさと』

映画監督の板倉真琴さんが、福島県浪江町のドキュメンタリー映画を制作されました。

「悔しい……」原発事故で全町避難を強いられ、ふるさとを失った浪江町民が口々におっしゃる言葉です。

浪江町は自然の恵み豊かな町でした。4年前に一部が避難指示解除されましたが、町の8割は未だ放射線量の高い「帰還困難区域」です。約95%の町民は今も帰っていません。

この映画は、暮らしを無くした悲しみ……、帰りたくても帰れない望郷の念と現実……、放射能に阻まれ被災者を救えなかった無念

……、町民の50人に一人にあたる約450人が自殺者を含む関連死の悼み……、マスコミがほとんど報じなかつた10年の証言です。

日野市民をはじめ全国からの支援金が製作費の一部にあてられています。14名の町民が語って下さったふるさとへの切なる想いを、この映画から見つめて下さい。(執印真智子)



DVDにご興味のある方は日野ネットまでご連絡下さい。多摩平・百草・市政図書室でも借りられます。

都議選報告

7月4日に行われた東京都議会議員選挙では、東京・生活者ネットワークから3人の候補者が挑戦し、北多摩二区(国立・国分寺)で岩永やす代さん(前国分寺市議)が当選を果たしました。

これからも選挙で訴えた東京政策の実現に向けて活動していきます。



山内れい子(左端)からバトンタッチ!